



坂戸市立坂戸小学校

令和8年4月24日発行 第2号

《学校教育目標》

「やさしく かしこく たくましく」

文責 校長 谷口 義明

さかど

学校は楽しいところ

令和7年11月発表の文科省調査によると、小学校の不登校児童数は137,704人で過去最多を更新し、全児童の約2.3%が不登校となっています。坂戸小学校では1.9%にとどまっていますが近年高止まりの傾向にあります。原因は様々ですが、今年度の学校経営の重点として不登校児童の減少を掲げています。

学校は子供達が望ましい人間関係のもと、たくさんのことを学んでいくことだと考えています。

この大切な学びが失われているかと思うと心が痛みます。この時期、友達とぶつかるのは当然ですし、そのグループに入る、入らない等様々なことが起こり、色々なことを学びます。初めからうまくいく子供はいませんし、うまくいってばかりでは学ぶことができません。多少のトラブルは必要です。

そのトラブルを経験しながら、成長して行ってほしいのです。

そのために・・・

- 1 学校を全児童にとって楽しいところにする！
- 2 学校を安心できる場にする！
- 3 学校に通いたいと思える学校にする！！

保護者のみなさん、地域のみなさん、ご協力よろしく願いいたします。

主体的・対話的で深い学び

みなさん、この言葉をご存じでしょうか。現行学習指導要領（2020年度から実施）の柱として導入されたこの言葉、「主体的・対話的で深い学び」に基づいて学校では授業を組み立てています。なお、埼玉県教育委員会では「主体的・対話的で深い学びの実現 6則」として次のように示しています。

- ・ 主体的な学び：学習活動を見通し、振り返り、課題を解決していこうとすること
- ・ 対話的な学び：学び合い等、他者と協働すること等によって、自己の考えを広げ深めること
- ・ 深い学び：見方・考え方を働かせて、より深く理解したり考えを形成したりすること

本校の学校研究のテーマともしている「主体的」ですが、学習の主体は子供達です。その子供達が

学習を見通して主体的に取り組み、振り返りをしながら次時につなげ課題を解決していくことが自身の身になる有益な学習活動であるということです。

そのためには周囲の児童とつながって、協働的な学びにより考えを深め「対話的」、「深い学び」にしていくことが重要です。その過程で人間関係の有益な学習もねらいとしています。座席も教科内容等に応じてペアやグループ、コの字隊形等、様々な学習が多くなります。ご理解ください。

学習の定着という点では、教員が一方的に話をする講義形式が最も低く、受動的でなく能動的な学習になるほど定着率が高まります。他人に教えることで90%になるというのはまさに効率的な学習方法です。そこで、学校では児童相互に「教えて」と言い合える関係づくりを目指しています。

見守り隊・交通指導員大募集！

今年度も引き続き、見守り隊を募集しています。

保護者の皆様、地域の皆様で朝や午後の時間帯に子供たちの見守りが可能な方がいらっしゃいましたら、学校までぜひ、ご連絡ください。PTAの皆様のご協力のもと、緑のベストも追加購入する予定です。街中の交差点毎に見守りの皆様がいてくださると、ドライバーの安全意識が高まることは間違いありません。どうかご協力のほど、よろしくお願いいたします。

また、以前「すぐる」にてお知らせさせていただいたように交通指導員さんも募集しています。児童生徒の登校時間帯における交通安全の確保及び通学指導や、幼稚園・小学校等で交通ルールや正しい横断歩道の渡り方などを教える「交通指導員」を募集します。(坂戸市HPより)

募集人数 若干名

応募資格

下記の1から2すべてに該当する方

- 1 市内在住で、年齢20歳以上70歳未満の方
- 2 法令を遵守し、健康で交通安全に熱意のある方

活動内容

児童生徒の登校時間帯(おおむね午前7時20分から午前8時20分までの内40分程度。例 午前7時30分から午前8時10分まで)における交通安全の確保及び通学指導

※活動日は、原則登校日すべて(学校との調整により休むことも可能)